

亡霊

僕は身体を売っています
何者も代償を求めるものです

僕は精神まで切り売りしています
全ては購入しなければ得られないのです

甘い夜は狂気の中に沈み
陽光に満たされた大気に悶え苦しむのです

ああ、安らぎへの渴望を口にする者は少なく
喜びを求める気遣いばかりが喚いている

物を豊かにする為に己が肉をそぎ落とすなら
僕はむしろ安らぎの中で笑いものとなるだろう

世界とは拒絶に他ならないが
それを断言するならば生は存在できないのです

それ故に社会が造られ
あたかも世界であるかの如くふるまっているのです

その社会というものに僕は身体を売っています
生の存在という亡霊を描くために

(1992.8.23)